

## 令和2年度 第2回 広島県道路交通渋滞対策部会

### 議事録

1. 日時 令和3年3月19日(金) 14:00~14:50

2. 場所 広島国道事務所 5階大会議室

#### 3. 出席者

[委員]

|        |                       |                    |
|--------|-----------------------|--------------------|
| 兼松 幸一郎 | 国土交通省中国地方整備局道路部       | 道路計画課長             |
| 加田 厚   | 国土交通省中国地方整備局道路部       | 地域道路課長             |
| 荻野 宏之  | 国土交通省中国地方整備局広島国道事務所   | 事務所長               |
| 福代 智之  | 国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所 | 事務所長               |
| 守山 和彦  | 国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所 | 副所長【代理出席】          |
| 西尾 理世  | 国土交通省中国運輸局交通政策部       | 環境・物流課 課長補佐【代理出席】  |
| 遠北 俊貴  | 国土交通省中国運輸局広島運輸支局      | 主席運輸企画専門官 輸送・監査担当  |
| 長田 和久  | 広島県土木建築局              | 道路企画課長             |
| 高森 真司  | 広島県土木建築局              | 道路整備課長             |
| 栢 英彦   | 広島県土木建築局              | 都市計画課長             |
| 樋口 稔   | 広島県土木建築局              | 都市環境整備課長           |
| 大下 孝志  | 広島県警察本部               | 交通規制課 課長補佐【代理出席】   |
| 田中 仁   | 広島市                   | 道路計画課 課長補佐【代理出席】   |
| 岡本 千城  | 広島市                   | 道路課 技師【代理出席】       |
| 坂本 潤   | 広島市                   | 街路課 課長補佐【代理出席】     |
| 山本 陽明  | 広島市                   | 公共交通計画担当 専門員【代理出席】 |
| 渡邊 浩延  | 西日本高速道路株式会社中国支社       | 企画調整課長             |
| 弓山 茂樹  | 本州四国連絡高速道路株式会社        | しまなみ尾道管理センター計画課長   |
| 為重 敦   | 広島高速道路公社              | 企画調査課長             |
| 山岡 弘和  | 公益社団法人広島県バス協会         | 事務局長               |
| 岩本 和則  | 公益社団法人広島県トラック協会       | 専務理事               |
| 坂本 信哉  | 一般社団法人広島県タクシー協会       | 事務局長【代理出席】         |

※敬称略

#### 4. 議事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (3) 主要渋滞箇所の対策計画
- (4) 観光地における渋滞対策
- (5) コロナ禍における交通状況を踏まえた今後のTDM施策

#### <議事概要>

- (1) これまでの検討経緯について確認した。
- (2) 今年度対策完了した新観音橋東詰交差点、福山郵便局前交差点の対策効果の検証結果について確認した。また、今年度以降の対策予定箇所の状況および広島熊野道路の無料開放後の交通状況について確認した。
- (3) 主要渋滞箇所の対策計画策定に向けて、速度低下状況や交通量等を加味した渋滞程度の評価を行い、優先度を定めて、関係者間でピンポイント対策（ソフト施策含む）の議論を進めることを確認した。
- (4) 観光地（宮島口）における渋滞対策について、令和2年秋季の交通状況と今後の取り組み予定について確認した。
- (5) コロナ禍における交通状況を踏まえて、公共交通の利用促進等によって交通量の減少が見込まれる箇所である国道54号の中筋一丁目交差点、緑井一丁目交差点を対象に、交通需要マネジメント（TDM）による渋滞解消を目指していくため、今後、関係者間で調整を図っていくことを確認した。

#### <委員からの主な意見>

- ・主要渋滞箇所の対策計画について、どのようなスケジュールで進めていくのか。【p. 24】  
（事務局回答）次回部会で速度低下状況等を評価した結果を提示した上で、優先順位を定めていくことを想定している。
- ・すべての主要渋滞箇所に対して、一律に優先度を評価していくことは難しいと思われる。各箇所について渋滞長や通過時間、速度、交通量、事故率等の指標や、対策状況、対策予定を確認できる一覧表を作成すれば、各管理者が各地域において、利用者の声や地域の要望等も含めて優先度を判断する材料として用いることができるのではないかと。【p. 24】  
（事務局回答）今後、整理をしていきたい。
- ・交通需要マネジメント（TDM）の推進にあたっては、どれだけ交通量が減れば渋滞緩和を図ることができるのかを分析してほしい。また、複数の関係者の協力で実施することになると思われるが、どれだけ的人数が実際に行動を変えたのかを把握することに努めていただき、2箇所の候補箇所だけで終わらず、他の箇所にも展開していくことにつなげていただきたい。  
（事務局回答）今後、対応について検討していきたい。
- ・TDM 施策として公共交通機関の利用促進を進めていくためには、バスレーンを利用する車両が多いため、バスがスムーズに移動できない実態もあるので、バスの利便性を高めていく取り組みも必要と思われる。  
（事務局回答）今後、関係機関と調整しながら対策を検討していきたい。
- ・現在国道2号の海田～瀬野間が慢性的に渋滞しており、安芸バイパスの早期開通で混雑解消が図れると思われる。また、休山トンネルが4車線開通したが、トンネル東口や先小倉では朝夕に渋滞が残っているため、渋滞解消に向けて取り組んでいただきたい。  
（事業者回答）ご意見いただいた2箇所は、優先して事業に取り組んでいるところで、東広島・呉道路阿賀 ICは令和3年度、東広島・安芸バイパスは令和4年度の開通を目指して鋭意事業を進めている。

以上